

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第28号 平成27年11月21日

山林4安打、秀自身初の猛打賞を記録・・・

全員出塁で大勝！

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | R |
|---|---|---|---|---|---|---|---|--|----|
| F | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | 0 |
| G | 3 | 5 | 2 | 3 | 4 | 0 | | | 17 |



現在借金3のチーム状況だが、残り4節で今期の活動は終了する。よって、借金解消の為に、残すゲームを勝利へ、とチーム一丸導く必要がある。そんな中、今日対戦相手は、初対戦となる、フレイムライオンズを岡村に迎え、ゲームを行った。今日の先発は、今期投手1勝とMFに掲げている昌平がマウンドに上がり、プレイボールとなった。その立ち上がりは2回まで20球、6人で抑える上々の発進となった。そして、初回から、我がチームは出塁・得点を重ねた。先頭が倒れ一死となったが、二番・三番が四球を選択し出塁、4番の打席でWPで先ず、1点、そして、遊ゴロの間に2点目。そして、二死二塁から、山林の適時打で3点を挙げる。翌2回には、打者一巡5安打、1奪四球で5点を挙げ、早くも勝利へぐっと近づけた。そして、3回、今日初のピンチを迎えた。この回、先頭打者の遊ゴロを大事に処理しすぎて結果エラーで出塁を許す。後続を斬り一死とするが、次打者には、三内安でまでもや出塁、後続を三振に斬り二死とするが、今日初の与四球で二死満塁、が、ここで、昌平は崩れず、遊ゴロでこのピンチを脱した。この回で昌平は、肩の張りでマウンドを降りたが、被安打1、与四球1の素晴らしい内容で、二番手の深沢にマウンドを任せた。そして、今日の攻撃陣は、休む手を止めない。3回にも2つの単打に四球2つを絡め、2点を追加、翌4回にも、2つの安打と相手失策も絡まり3点を追加。続く4回、5回も追加点を重ねた。そして、2番手でマウンドに上がった深沢も3回を被安打4、与四球2のゼロ封で得点を許さず、今日のゲームを勝利に導いた。

今日を振り返ると、やはり、打線であろう。ボールの見極め、好球必打から17点もの得点を挙げたが、中でも要所で適時打を放った山林が4安打を記録、そして、秀が自身初の猛打賞を記録、3人のマルチ安打と打線が勝利に導いた。更には、足も勝因の一つ、チーム新記録となる23個を記録。そして、ゲームを壊さなかった2人の投手も勝利の要因、という事は、チーム一丸で勝利を掴んだという事になる。

結果として、このような良い結果を残す事が出来たが、やはり、今日は見極めが一番の勝因だったと改めて感じたゲームであった。

残り借金は2つ、この調子で次節も頑張ろう！